



平成 18 年 7 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社協和コンサルタンツ  
代表者名 代表取締役社長 高柳 義隆  
( JASDAQ ・ コード 9 6 4 7 )  
問合せ先 管理本部  
総務事務管理室長 山本 信孝  
電 話 03 3376 3171

平成 18 年 11 月期中間(連結・単独)業績予想の差異  
および通期(連結・単独)業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 11 月期(平成 17 年 12 月 1 日～平成 18 年 11 月 30 日)の業績予想について、平成 18 年 1 月 27 日付当社「平成 17 年 11 月期決算短信(連結)」及び同日付当社「平成 17 年 11 月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成 18 年 11 月期連結業績予想の修正等

( 1 ) 中間期(平成 17 年 12 月 1 日～平成 18 年 5 月 31 日)

( 単位：百万円 )

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	3,700	430	215
今回修正予想(B)	3,341	237	147
増減額(B-A)	359	193	68
増減率	9.7%	44.9%	31.6%

( 2 ) 通期(平成 17 年 12 月 1 日～平成 18 年 11 月 30 日)

( 単位：百万円 )

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	6,400	450	210
今回修正予想(B)	5,800	345	200
増減額(B-A)	600	105	10
増減率	9.4%	23.3%	4.8%

( 3 ) 修正理由

当社グループは、主力事業の建設コンサルタント事業において、公共事業の構造改革による総事業費の減少と価格競争激化の影響を受ける中で、短期の変動を超えて、中期経営計画の重点である AM 事業(アセット・マネジメント事業)へ全力を傾注いたしました。

その結果、中間期は AM 事業等への先行投資的な支出増もあり、売上高、利益ともに前回予想を若干下回りました。しかし、AM 事業の営業効果が、下半期から本格的に顕在化する見込みであり、中期経営計画の目標利益の軌道に乗るものと確信しております。

通期におきましては、中間期の業績の影響により、売上高は連結業績予想値を若干下回る修正となりますが、最終利益は予測値と近似値であります。

## 2. 平成18年11月期 単独業績予想の修正等

### (1) 中間期(平成17年12月1日～平成18年5月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	3,200	350	185
今回修正予想(B)	2,959	222	112
増減額(B-A)	241	128	73
増減率	7.5%	36.6%	39.5%

### (2) 通期(平成17年12月1日～平成18年11月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	5,640	350	170
今回修正予想(B)	5,100	274	135
増減額(B-A)	540	76	35
増減率	9.6%	21.7%	20.6%

### (3) 修正理由

連結の修正理由と同様の要因にて、修正となりました。

上記の各予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後の要因によって予想値と異なる場合があります。

以上